



# 香川大学工学部ニュース

No. 29, 2008.10.15

## 第1回オープンキャンパス（大学説明会）を開催

平成20年8月6日（水）、香川大学オープンキャンパスを開催しました。工学部では、今年度も多くの高校生、保護者及び高校の先生方にお集まりいただき、参加者数は、昨年を上回るおよそ320名となりました。学科ごとに企画した見学ツアーでは、皆さんを研究棟や実験棟へお連れし、各学科で実際に行われている研究や工学部の見どころなどをご案内しました。参加した高校生は、厳しい暑さにも関わらず、工学部の教育内容や入試情報について、真剣な様子で説明を聞いていました。また、説明会終了後にも送迎バスの出発時間の間際まで入試相談コーナーでアドバイスを受けている熱心な高校生の姿もありました。ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。（広報室）



全体説明



学科ごとの見学ツアー

## 17名の学生がポリテク・サボアを協定校訪問

平成20年9月23日（火）～27日（土）に香川大学の学生17名と教職員5名が、協定校であるフランスのポリテク・サボアを訪問しました。ポリテク・サボアは、サボア大学の中の二つの工学院で、香川大学とは2000年4月に学術交流協定を締結しています。それ以降、インターンシップなどの交流を続けておりますが、今回のように香川大学の学生が派遣員として協定校訪問するのは初めてです。ポリテク・サボアの二つのキャンパスでは、研究紹介や施設見学が行われました。訪問後にはボーリングを交えた交流会が行われ、両大学の学生・教職員のさらなる交流が図られました。また、欧州合同原子核研究所（CERN）やベアリングメーカーのSNRの工場など、キャンパス近郊の研究機関や工場を見学しました。それぞれの研究内容や施設に対してはもちろん、研究者の熱意やフランス人のホスピタリティにも、多くの学生が感銘をうけたようです。（広報室）



欧州合同原子核研究所（CERN）の見学



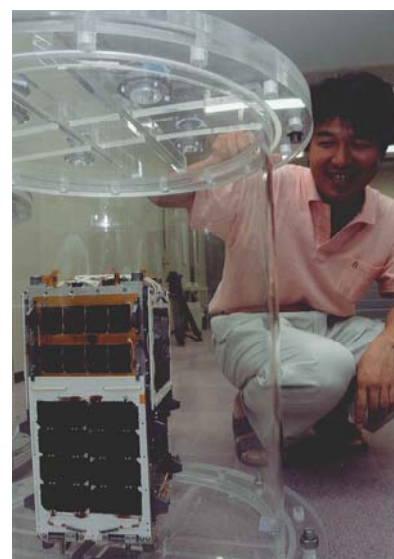
Bourget du Lac キャンパスにて

## 香川衛星STARS完成の記者発表を行いました

平成20年9月4日(木)、香川衛星 STARS のフライトモデルが完成し、工学部知能機械システム工学科の能見公博准教授が記者発表を行いました。9月7日に JAXA (宇宙航空研究開発機構) に搬入し、10月初旬まで適合試験を実施します。その後、いったん大学に戻り、最終チェックをした後に種子島へと運ぶことになります。打ち上げは、1月～2月に計画されています。いよいよ、西日本地区初香川発超小型人工衛星 STARS が宇宙に飛び立ちます！プロジェクトは2005年1月に何も無いところからスタート、2007年5月に H2A ロケットの相乗り候補に選定されました。選定後はスケジュール的にデッドラインができたこともあり、急ピッチで開発を進めてきています。

工学部キャンパスには衛星管制局がありますので、是非遊びに来てください。ホームページ&メーリングリストもありますので、是非ご利用下さい。(香川衛星開発プロジェクト事務局)

URL <http://stars1.eng.kagawa-u.ac.jp/> 問合せ&メーリングリスト登録: [sat-sec@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:sat-sec@eng.kagawa-u.ac.jp)



完成した香川衛星 STARS  
(四国新聞提供 平成20年9月5日)

## 国際会議 ICMA2008 をサンポート高松で開催

平成20年8月5日(火)～8日(金)の4日間にわたり、サンポート高松においてメカトロニクスとオートメーションに関する国際会議(2008 IEEE International Conference on Mechatronics and Automation, ICMA2008)を開催いたしました。約200件の研究発表と3件の基調講演、1件のワークショップが行われ、約150名の参加者がありました。基調講演では、中国ハルビン工程大学 Bian 教授より水中ロボットに関する研究開発動向についての講演、名古屋大学生田教授から医療応用を目指したマイクロシステムに関する講演、米国オクラホマ大学 Miller 教授から、ロボットを基調とした教育についての講演が行われました。また、7日には本学一井学長を迎えて、懇親会が盛大に行われ、論文賞の表彰も行われました。本会の開催に当たり、ご支援をいただいた本学国際交流基金および香川県、高松コンベンションビューロー、ならびに開催・運営にご協力いただきました関係者に、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。(知能機械システム工学科 石原秀則 准教授)



懇親会にて



基調講演 (米オクラホマ大学 David Miller 教授)

## 国際インターンシップ交流会を開催

国際インターンシップは今年度で9年目を迎え、恒例の国際インターンシップ交流会が、平成20年7月19日（土）工学部1号館11階ラウンジで開催され、約80名が参加しました。国際インターンシップに関わりのある受入企業やホストファミリー、国際交流団体の方々、学生、教職員と多彩な顔ぶれが集い交流を深めました。今年度は、協定校であるフランスのポリテク・サボアから3名が、3、4月頃から約5ヶ月のインターンシップを実施しています。また、工学研究科から3名をフランス、1名をドイツに派遣予定です。（工学部教務職員 西岡愛）



国際インターンシップ交流会での集合写真

## 工学部キャンパスが非常災害時における避難所に指定されました

香川大学工学部は、高松市林地区コミュニティ協議会からの非常災害時における避難所指定の申し入れを受けて、同協議会との間で「非常災害時における避難所指定に伴う申し合わせ」を締結しました。平成20年8月1日（金）に香川大学工学部長室において、伊藤寛 香川大学工学部長と、高松市林地区コミュニティ協議会 出石宗会長の間で締結を執り行いました。これにより、災害時に要請があった場合には、本館（福利・図書館）1階学生食堂を地域住民の方の避難所として開放することになりました。本学部では、今後もより一層、地域社会との連携を図り、双方の更なる発展と地域社会への貢献に繋げていきたいと思っております。（広報室）



左から、出石宗 高松市林地区コミュニティ協議会会長、伊藤寛香川大学工学部長

## 工学部北側県道に愛称案内標識「サンシャイン通り」を設置

昨年秋、本学部学生から工学部北側県道に愛称をつけようとの提案があり、地元の香川インテリジェントパーク交流推進協議会、林地区コミュニティ協議会に相談したところ、両協議会が愛称募集の実施主体になっていただき、広く市民から愛称が募集された結果、高松市内外から多数の応募があり「サンシャイン通り」に決定しました。工学部では、正門前に愛称標識を設置しました。皆様の口コミでさらに、愛称「サンシャイン通り」の名前を一人でも多くの方に知っていただければ幸いです。（広報室）



左から、蓮井かがわ産業支援財団副理事長、出石林地区コミュニティ協議会会長、平田香川インテリジェントパーク推進協議会会長、伊藤工学部長

## 大学体験授業 ～科学・技術の面白さを体験しよう～を開催

香川大学工学部材料創造工学科は、平成 20 年 7 月 30 日（水）～8 月 1 日（金）の 3 日間にわたり、「ミクロンオーダーの薄膜を作ろう、サングラスを作ろう」、「導電性ポリマーを作ってみよう」、「真空を探ろう」、「化学吸着単分子膜を用いて水弾きのいい湯飲みを作ろう」、「軽くて強い材料のひみつ」の 5 つのテーマで県内の高校生を対象に大学体験授業を行いました。

この体験授業は 6 年前から毎年夏に開催しており、科学技術振興機構（JST）のサイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）に採択され、JST の支援を頂いて行っています。授業内容は、高校生が実際に手を動かして、ものづくりや実験を体験できるようにと企画したものです。今年は 80 名の高校生が参加し、大学で行われている教育・研究内容を体験しました。（広報室）



材料の性質を調べている様子



実験試料の作製の様子

## 高松東高校にて出前講座

工学部は楽しいことがいっぱい！それに香川大学工学部には楽しい先生がいっぱい居ます。そこで、香川大学工学部では、高校生向けに「出前講座」を始めました。フレッシュな話題を高校の教室までお届けします。

最初の今回は平成 20 年 8 月 26 日（火）、講師は材料創造工学科の須崎准教授、生徒は香川県立高松東高等学校人文科学コースと国際情報コースの 2 年生理系生徒の皆さん 40 名でした。講座のタイトルは「ヒット商品と科学技術」。最近ヒットした商品とその開発やその裏事情、新材料開発で 400 億円、会社員技術者がノーベル賞、日本人の開発した世界最強の磁石が地球環境を救う、などなど、盛りだくさんの内容に、生徒はみな興味を持って聞き入っていました。講座後の生徒の感想は「ヒット商品や最先端の科学技術のことを通して、工学部に進んだ場合にどういう道に進んでいくかが分かった。講座はすごくおもしろくて、聞いているうちに工学部へ行きたいという気持ちになった。」など好評でした。ぜひ 1 度、出前をおとりください。（広報室）

工学部 HP <http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/> → 知りたい方へ → 高校との連携 → 出前講座ははじめます



出前授業の様子

## 中心市街地活性化のための4町パティオナイトサロン開催

香川大学が地域貢献の一環として進める中心市街地活性化事業（交通 IC カードを活用した IT 支援型多世代交流まちづくり事業）の第一弾として、平成 20 年 9 月 13 日（土）に中央商店街南エリアの 4 町パティオにおいて、まちなか討論会が開催されました。この討論会は工学部安全システム建設工学科の学生が中心となり、地元の若手クリエイターや瓦町周辺まちづくり協議会の方々と共同で企画したものです。

討論会には、香川大学、商店街、商工会議所、ことでん、行政、NPO の関係者および一般市民を含め約 110 名が集まりました。夜の帳の中、プレゼン形式で商店街の歩みを振り返り、空き店舗が目立つトキワ街を変えるための様々なアイデアが説明されました。その中では、来年 4 月に開設予定の香川大学ミッド・プラザ（空き店舗を活用した講義・研究・交流スペース）の概要が紹介され、多くの方々が大学発の活性化事業に期待を寄せていました。（広報室）



4 町パティオでのまちなか討論会の様子

## 研究室紹介：安全システム建設工学科 野田研究室

本研究室では、強震動予測と地盤震動解析、地盤-構造物-流体系の耐震解析、知的構造とヘルスマニタリング、新しい耐震化技術の開発、耐震改修のための社会政策／制度、ライフライン系の信頼性と保全性、リアルタイム地震防災と災害情報、災害時の避難行動シミュレーション、都市災害の防止と軽減法に関するシステムズアプローチなどの研究を進めています。

オリジナリティのある、大学の研究に相応しい、社会的要請の強い特色あるテーマを設定することが研究の基本姿勢です。この観点から、科研費を始め、ピア・レビューによる審査に基づく競争的研究資金の採択率を高めています。本研究室は理論的考えの牽引役を担い、独創的・先駆的な研究を行っているため、地震工学分野をリードする大学として高く評価されています。リアルタイム地震防災研究については企業の防災対策や危機管理に活かされており、中でも緊急地震速報は国民に役立つ情報として提供されています。

学生も 1 人の立派な研究パートナーです。自由な雰囲気の中で、学生の自発性を期待するとともに、自由な発想で研究／勉学できる環境を確保したいと思っています。（安全システム建設工学科 野田茂 教授）



研究室のメンバー

## 顔合成ロボットが e-とぴあ・かがわに展示されました

平成 20 年 8 月 6 日（水）から 9 月 9 日（火）（好評につき 10 月中旬まで延長）の期間、e-とぴあ・かがわにおいて被験者の顔写真を撮影し、「20 年後にはどんな顔になるだろうか?」、「自分が政治家になるとしたらどんな顔になるだろうか?」など、予想される顔を画面上に表示する顔合成ロボットを展示しております。本展示物は、香川県大阪事務所から本学の社会連携・知的財産センターへ技術相談として持ち込まれ、企業との共同研究へつながった成果物であり、RSK 山陽放送イブニングニュースやイブニング DonDon でも放映されました。夏休み期間ということもあり、8 月末の段階で既に 1,000 名を超える方に体験いただき、大変好評を得ております。（**知能機械システム工学科 林純一郎 助教**）



顔合成ロボット

---

## 第2回工学部オープンキャンパスを 10 月 26 日に実施

10 月 26 日（日）に、工学部林町キャンパスにて、平成 20 年度第 2 回工学部オープンキャンパスを行います。工学部祭と同時開催ですので、各研究室の展示や、家族で楽しむサイエンス・クラフト工房（予約制）、ロボットコンテスト、模擬店など、楽しい企画が盛りだくさんです。特に体験コーナーでは、さまざまな科学や工学を実験を通じて体験していただけます。受験生の皆様には入試説明会と入試相談コーナーを用意しております。車でのご来場も可能です。多くの皆様に来て楽しんでいただけることを楽しみにしています。（広報室）

工学部 HP <http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/>

---

## トピックス

### 人事異動等

#### 教員人事

平成 20 年 8 月 31 日辞職：知能機械システム工学科 呉景龍教授（岡山大学工学部機械工学科へ転出）

### 訃報

寄附講座「メンテナンス工学（四国機器）講座」（平成 13 年 7 月から平成 18 年 6 月まで）、引き続き平成 18 年 6 月から平成 20 年 3 月まで、本学客員教授を務められた清田雄彦先生が、平成 20 年 9 月 8 日ご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

編集：工学部広報室 電話：087-864-2000(代)、FAX：087-864-2032

e-mail: [info@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:info@eng.kagawa-u.ac.jp) <http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/>